

# けられるまち 力ある元気なまちへ

## 第5次日野町総合計画

総合計画は、町が目指すまちづくりの方向性や、それを実現するための施策などを定める最も基本的な計画です。行政が行う施策や事業は、この総合計画をもとに実施しています。

現在、「第4次日野町総合計画」に基づき町の行政運営を進めています。終期が平成23年3月末であるため、新たな目標を示す「第5次日野町総合計画」を平成21年度と平成22年度の2年間で策定します。

策定にあたっては、多くの住民の皆さんにご意見をいただき、参画していただきながら、協働により策定していきたいと考えています。

### 住民の皆さんの参画をお願いします

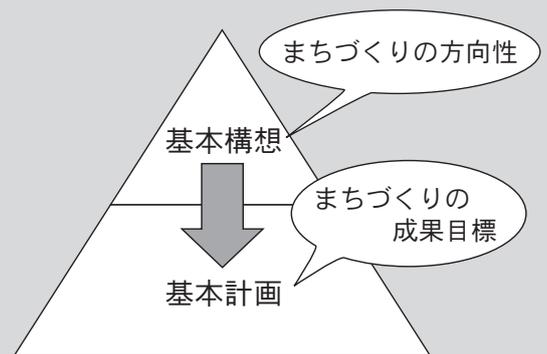
総合計画は、町政に重要な役割を果たすことから、次のように、住民の皆さんに参画いただけるよう計画していますので、積極的に参画いただきまますようお願いいたします。

- 各地区公民館でのまちづくり懇談会
- 各種団体との懇談会
- まちづくりフォーラム
- 総合計画懇話会

など



### 総合計画は2層で構成



#### 基本構想

まちづくりの基本的な方向と、目指すべき姿を明らかにして、実現のための基本的な考え方を示すものです。

#### 基本計画

基本構想で描く将来像を実現するための施策や事業などを、分野ごとに明らかにします。

### 住民意識調査へのご協力

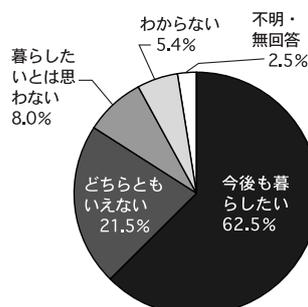
#### ありがとうございます

昨年11月に「第5次総合計画にかかる住民意識調査」を実施させていただきました。

2,514人の方に調査票を配布させていただきましたところ、1,266人(回収率50.4%)の方からご回答いただきました。

今後、調査結果を分析するとともに、皆さんからいただいた貴重なご意見を新しい総合計画の策定に活かしていきます。なお、調査結果については、総合計画の策定経過とともに、今後広報に掲載していきます。

「今後も日野町に暮らしたいと思いますか」



#### 住民意識調査報告

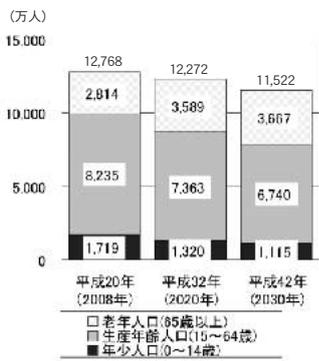


# 安心して暮らしつつ 活 みんなで作っていきましょう

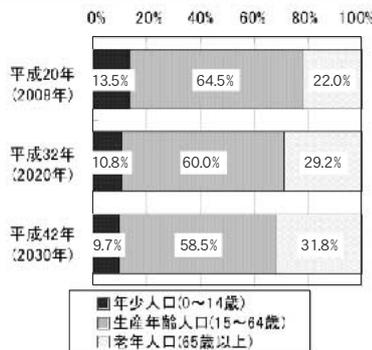
## 日本の将来予測

人口が減少する社会へ…高齢者が増え、子どもと生産年齢人口が減少する社会へ

■全国の将来年齢三区分の推移



■全国の将来年齢三区分人口比率の推移



資料国立社会保障・人口問題研究所

20年後には

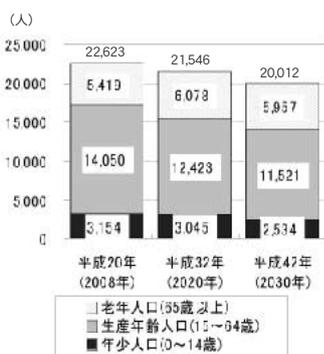
【総人口】…………… 1,246万人の減少  
 【年少人口(0歳～14歳)】…………… 604万人の減少  
 【生産年齢人口(15歳～64歳)】… 1,495万人の減少  
 【老年人口(65歳以上)】…………… 853万人の増加

日本では、平成59年(2047年)に、人口が1億人を切ると予測されています。  
 今から概ね20年後には、年少人口は現在の1,719万人(13.5%)から1,115万人(9.7%)にまで減少すると予測されています。  
 また、労働力となる生産年齢人口は現在の約8,235万人(64.5%)から6,740万人(58.5%)まで減少すると予測されています。  
 そして、64歳以下の人口は、2,099万人の減少になると予測されている一方で、65歳以上の人口は現在の約2,814万人(22.0%)から3,667万人(31.8%)と、853万人の増加になると予測されています。

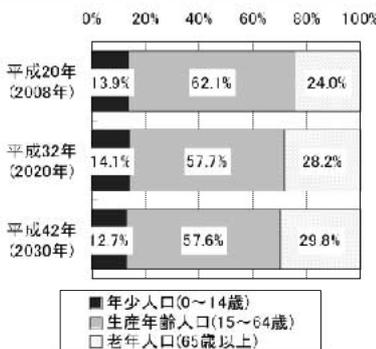
## 日野町の将来予測

人口は減少するものの、少子化・高齢化は全国平均予測よりゆるやかに進行

■日野町の将来年齢三区分人口の推移



■日野町の将来年齢三区分人口比率の推移



\*コーホート変化率法により算出

日野町では、総人口がゆるやかに減少を続けると予測されます。平成32年には、平成20年に比べ、1,077人の人口が減少すると予測されます。また、平成42年には、平成20年に比べ、2,611人の人口減少が予測されます。  
 また、年齢三区分別人口では、国全体の傾向と同様に、今後10年間は、年少人口と生産年齢人口が減少し、老年人口が増えることが予想されます。